

残念なことに、新型コロナの第8波が襲来してきました。新潟市は、救急医療の破綻が起きかけていると、アラートを出しています。また、この冬、コロナ・インフルエンザ同時流行した場合のピークで、全国で1日75万人、新潟県で約1.4万人(コロナ7605人+インフル6517人)の新規患者が発生すると想定されています。行政からも医療機関での診療能力を超える可能性を指摘されています。政府・行政は、こうした状況にもかかわらず、Go Toトラベルなどを継続し、一般の方は会社での忘年会を行うことに賛成する方が50%以上となっています。医療機関にのみがんばれと言われても、限界を感じます。

国が言っているように、事前にコロナ抗原キットを用意し、夜間発熱された場合などにはそのキットでコロナ感染の有無をチェックする事をお勧めします。コロナが陰性でないと救急車で病院搬送は困難になります。また解熱剤も用意しているほうが良いでしょう。



北区文化会館では、“ウインター・イルミネーション・ひかりの森”と題して、上記のようにシロクマを中心としたライトアップを行っています(現在準備中、写真は、昨年12月下旬の撮影です)。冬の寒さの中、ほっこりさせてくれます。

豊栄病院薬剤部の紹介をさせていただきます。
当薬剤部は薬剤師5名、事務1名、調剤補助1名で行っています。業務の中心は入院患者様に対するもので、具体的には患者様

の状態に合った薬や量、飲み合わせなどを確認し、薬を作り、その説明を行っています。他病院からの持参薬の内容の確認、場合によっては当院採用薬との比較検討などを行い、患者様の病状・健康維持にも努めています。その他抗癌剤のスケジュールを医師たちと共に作成したり、安全使用のための対処法を多職種との間で検討しています。又、薬の関係する栄養や感染、床擦れ等についても多職種と一緒に活動し薬剤師としての意見を提供しています。これらの活動以外にも現在院内で睡眠薬による副作用や依存を減らす取り組みも行っています。今後も患者様の治療の手助けが出来るよう努力して参ります。



テレビで京都の紅葉に集まる旅行客の混雑ぶりを見ると恐怖心すら覚えます。当方は、あまり人が集まらない所を狙い？観光しています。写真右は、五泉の大きく育てられたコキア、写真左は、柏崎市の苔が美しい国指定名称庭園、貞観園です。この庭園が京都にあれば、大混雑スポットになりそうですが、私が訪ねたときは、観光客ゼロでした…。

サッカーワールドカップは、日本が初戦でドイツに勝ちグループリーグ突破間違いなしと思ったところ、2戦目のコスタリカに敗れ、12月2日午前4時からのスペイン戦に命運がかかっています。果たして結果は??

豊山関が引退されました。お疲れ様でした。

発行責任者;豊栄病院病院長 宮島 透